

紀宝町

議会だより

平成22年6月1日発行（第16号）

みんなで食べるとおいしいね！！



園外保育（相野谷保育所）

議 会 日 誌

平成22年 1月 ～ 3月

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1月 8日 紀南介護保険広域連合議会（熊野市） | 26日 鵜殿小学校ランチルーム見学〔給食試食〕 |
| 27日 議会運営委員会 | 議会運営委員会 |
| 28日 紀南環境衛生施設事務組合全員協議会（新宮市） | 3月 2日 紀南介護保険広域連合議会（熊野市） |
| 議会中継調査特別委員会現地視察（熊野市議会） | 3日 議会中継調査特別委員会 |
| 2月 1日 第1回臨時会 | 全員協議会、議会運営委員会 |
| 2日 紀南社会福祉施設組合議会臨時会（御浜町） | 5日 第1回定例会・第1日目 |
| 紀南特別養護老人ホーム組合議会臨時会（御浜町） | 23日 第1回定例会・第2日目 |
| 南牟婁清掃施設組合議会臨時会（御浜町） | 24日 第1回定例会・第3日目 |
| 9日 町議会議員先進地視察研修 | 25日 紀南病院組合議会（御浜町）、明和小学校休校式 |
| （愛知県・岐阜県・滋賀県）〔10日まで〕 | 東紀州農業共済事務組合議会全員協議会・定例会 |
| 19日 議会中継調査特別委員会現地視察（三重県議会） | （熊野市） |
| 22日 三重県町村議会議長会理事会（津市） | 26日 第1回定例会・第4日目 |
| 23日 教育民生常任委員会、議会中継調査特別委員会 | 29日 第1回定例会・第5日目 |
| 25日 紀南環境衛生施設事務組合議会（新宮市） | 31日 紀南社会福祉施設等一部事務組合議会（御浜町） |

3月定例会 一般質問

(要約)

平成22年第1回紀宝町議会定例会は3月5日に開会しました。

第1日目は、初めに、議長報告と委員長報告を行い、次いで、町長から、新年度大綱説明及び各般についての行政報告がありました。次に、選挙管理委員会委員及び補充員を選出。その後、議案審議に入り、教育委員の任命案件の他、条例の制定や一部改正案件、平成21年度補正予算案件など合計18件の議案を原案通り可決しました。

第2日目の23日、第3日目の24日及び第4日目の26日は、一般質問が行われ、14人の議員が、町行政等について当局の考え方を質しました。

第5日目の29日には、平成22年度予算案件8件の議案を可決し、閉会しました。

尾畑 啓嗣 議員



- ・町長の政治姿勢について
- ・政治と力ネについて
- ・限界集落について
- ・町有地の貸付について

町長の政治姿勢

議員

2009年8月の衆議院選挙で国民は自公政権ノ1の審判を下した。民主党の政策と路線を支持したわけではないが、国民が声を上げれば、政治は変わるという自覚と確信を広げたと私は思います。今回の町長選挙、自民と公明、西田氏を推した議員諸氏の票を足せば圧勝でなければならぬはずであった。結果は18票差、西田町長を替えたい、この住民要求は何であったのかと、どこに原因があったかとお考えなのか、町長。

町長

最近のこの状況を見ますと、これまでの自公政権から民主党を中心とする政権に替

わったということで、政策を求めるのじゃなしに、政治が変わるというかたちの中で、国民が求められたということだと思っております。こういった状況を踏まえ今後の町政に活かしていきたい。

議員

選挙は国政も含めて、風潮だとそういう流れだという具合に町長は今ご答弁されましたけれども、自公政権はなぜ審判を下ったのか。これは風潮だけではない。アメリカベッタリ大企業中心の政治に対して、国民がノーという審判を私は下したんだ。そういう点で言いますと、西田町長の4年間どうであったのか。ま

ず私は7つほど挙げたいと思います。住民の不満がどの点に表れてきたのかという点をご指摘を町長にしておきます。今後の町政運営に私は大事なことでと思っていますから、ここは西田町長を批判するつもりでやってくるんじゃないです。住民要求がどう変わっていくか、どうしたら住民主人公の政治ができるのかという観点から町長に申しますので、決して嫌味だと思わず聞いていただきたいと思っています。建設的野党として日本共産党はそういう点で頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。1つ目は

ウミガメ公園建設にまつわる横領と収賄、総務課長の任命責任、2つ目は高齢者祝い金、5千円と8千円の差別支給、3つ目は4億円かけて産業会館建設、4つ目、合併したらサービスは低下させない、支所、分庁舎の廃止、5つ目、地元業者の納得が得られない見切り発車の合併浄化槽のPFI導入と、矢渕中学校の耐震補強工事、6つ目、新宮市より高い町長の交際費、もう1点、昨年の12月議会では次のような質問を行いました。住民の皆さんから西田町長は、住民の意見を聞くと言いつつ、懇談会に参加してもレールがすでに敷かれていて、発言してもむなしに参加したくない。私はこの3年間、西田町政と住民との距離は縮まったと思いませんと質問しています。今回の選挙の結果、西田町政と住民の距離はますます離れた。私の指摘どおりになったのではないのでしょうか。今後の政策決定についてどのような改善をしようとしているのか答弁を。

町長

満足していただける方、不

— 限界集落

議員

紀宝町も少子高齢化が進んでいます。家の中に手すりがない。家までの道に手すりがあれば転ばなくてすむ。畑をしたいがサルやイノシシで野菜が作れない。古いトタンはないか。バス停に机や椅子があれば助かる。雨が降れば買い物に行けない。たくさん要望があります。町としてきめ細かな対応を。

担当課長

平成21年度から三重県において「中山間地域等における中間支援業務のあり方検討事業」が実施されており、今回、浅里地区を申請したい。

議員

地元住民と相談して、桐原地区への上水道の検討を提案しておきます。

— 町有地の貸付

議員

旧鵜殿村時代の宅地6千坪、年250円の更新が3月31日であります。前議会でも

ろうというふうにも思っておりますので、しっかりと頑張ってまいりたいと思っております。

議員

そうしたら今回の選挙の費用は町長いくらかかりましたか。

町長

はい。それにつきまして、私の出納責任者の方から提出させていただいている金額は103万4058円となっております。

議員

今、政治とカネの問題でやっておるわけで、退職金のお金の問題も含めてやるわけですから、町長、今回の選挙で自己資金はいくらかかりましたか。金額言えないなら言います。町長の自己資金は今回92万5558円でありまして。やる気のある人が町長に立候補しようと思ったら、100万円自己資金があればできます。選挙の法定費用の240万円までに減額する条例を作るつもりはありませんか。

町長

はい、私は今のところその気はございません

町長

当然掛金をされておられるわけですので、それらの分の年金を支給されるのは当然のことだと思います。

議員

町長の1期4年間の退職金はいくらですか。

担当課長

1期4年分につきまして、1329万8688円となっております。

議員

町は町長の退職金の積み立てに月額21万4452円

議員

1カ月3万2千円、1期4年間で153万6千円の掛金を納めます。1期で辞めると、76万8千円しか返ってきません。私の場合を例にとりますと、4期16年在職して61万4千円を掛金として払います。66歳から年金をもらいますと、1年間の年金は60万4800円であります。掛金満額を利息なしでもらうには、77歳までかかります。これが議員の年金制度であります。今、市町村合併により議員が減り、掛金で年金が賄えない。国においても地方においても検討が進められております。町長の考えは。

— 政治とカネ

支出するわけでありまして。先ほど言ったように、議員は4年間で153万6千円掛け、1期で辞めたら掛金の半分、町長と議員という職種上の問題があるにせよ、こんな矛盾した制度であります。今回の町長選挙で日本共産党紀宝支部は、公開質問状で、退職金を減額しませんかとお訊ねしました。町長の回答は「報酬や退職金の必要以上の減額は、金銭に余裕のある者でないと町長に立候補できないことになりかねないかと危惧しております」と回答。そこで町長に聞きま

町長

す。必要以上の減額って何%を指すんですか。金銭的に余裕のある者って言うのはどれくらいの金銭に余裕のある者が町長に立候補できるんですか、2つ聞きます。町長はこの4年間、給料報酬は約3750万円、退職金1300万円、アパート家賃500万円、こういう余裕のある人ではないと町長に立候補できないのかね。そう理解していいですか。

町長

立候補できないという話じゃないですけれども、やはりいろいろのこれからの町政についてですね、高い志を持ってこれからの町政の運営、また新しい町づくり、未来に向かって愛される、誇りのある町づくりを進めていこうという強い志を持った方がみえられてもですね、そのときにやはり金銭的なものが障がいになつては、やはり町にとつてはマイナスになるんじゃないかと、そんなふうな思いをいたしておるところでございます。誰もが平等に、そして一生懸命仕事を運営して、それに合わせて仕事をしていくというのが私どもの務めであ

取り上げ安すぎるのではない
か、旧鶴殿村の固定資産税は
坪1400円近くだと思う。
借主さんと話し合って負担能
力に見合った単価にすべき
だ。76件の更新は進んだの
か。

担当理事

町有地の貸付については、
現地確認及び借主の意向を十
分確認しながら契約手続きを
行っています。契約期間を5
年から3年に、坪単価を1平
方80円に（坪14円の値上
げ）、山林等についても小額
の値上げにしております。

議員

自主財源をどう作るかで
す。私は利息の高い起債の借
り換えを主張してきた。全員
協議会のときに、田中収入役
から6%以上の9件ある起債
を3件借り換え、1894万
2661円、利息が負かった
と報告がありました。紀州製
紙は北越パルプと合併した。
経常経費は上げておるんや
ろ、そこまで調べたか。

担当理事

そこまで調査しておりませ
ん。

議員

そんな弱腰では自主財源は

作っていいけんよ。合併した
ら相手の会社が黒字ならそれ
だけの地賃を出しなさいとい
うのは、町としての自主的な
考え方じゃないですか。

※この他に、日本共産党の
公開質問状の回答、公約の
実現、諸報告について質問
がありました。



榎本 健治 議員

・町長の政治姿勢について
・中曽川の防災対策につ
いて

町長の政治姿勢

議員

徹底した行財政改革のさら
なる推進ということで、議会
中継の実施を公約に掲げられ
ております。議会中継につい

て特別委員会の方ではインタ
ーネット中継できる設備を導
入すると一定の方向性が出て
きました。現在の議会中継
費、12月補正予算で365万
5千円。具体的にいつから実
施するのか。

町長

議会の特別委員会を設置し
ていただいて、鋭意努力、ご
議論いただいているわけでござ
います。倫理観も十分検討
するなかで、協議して進めて
まいりたい。

議員

具体的な時期をお伺いした
のですが、町長の公約に掲げ
ている以上、実際、議会中継
はいつからやっていくのか。

町長

公約はすぐやれば一番です
けれども、4年間の途中で進め
ていくのも大事かと思ってい
ます。しっかりと議論をし、そ
の中で連携をし、機が熟した
ときに進めていくべきと思っ
ています。

議員

特別委員会の意見は、3月
議会を目指して議会中継を行
うため、三重県議会、熊野市
議会へ調査に行き、やはりイ
ンターネット中継に対応でき

る設備を導入しようというこ
とです。しかし予算が少し足
らないという現状もありま
す。そのへんは町長しっかりと
6月で対応していただける
のか。

町長

議会の皆さま方としつかり
と連携を取りながら、機が熟
したときにしていくべきだと
思います。

議員

特別委員会での機は熟して
いると思います。やはりいろ
いろ比較するなかで、自宅で
見える、どこでも見える、町
外でも見える、インターネット
中継を導入していくことによ
って幅広い情報発信が今後
できると思います。

中曽川防災対策

議員

鶴殿法寿坊地区、中曽地区
の安全安心な防災対策という
ことで、東海・東南海・南海
地震の同時発生による津波来
襲時、スイングゲートが壊れ
た場合のシミュレーション
は。

担当課長

紀宝町防災マップに津波災



議会中継調査現地視察（熊野市）

害危険区域が記載されてお
り、防潮堤や防波堤等が地震
により破損や機能しなくなっ
た場合を想定した津波の浸水
区域では、甚大な被害が予想
されております。

議員

法寿坊地区、中曽地区の世
帯と人口は。またどのような
被害になるのか。

担当課長

各施設が機能しなかった場
合、防災マップから浸水箇所
を推定いたしますと、230
世帯で約550人の被害が想
定されます。

議員

スイングゲートの左側は、
開いた状態で、先日のチリ沖
地震のとき、自主防法寿坊地
区の会長さんが見に行ったら

開いたままでした。海拔0メートルのスイングゲートの作動は大丈夫か。

担当課長

昨年の11月11日に職員によるパトロール実施した際、スイングゲート片方が開いた状態になっておりました。2月28日の津波警報が発令された際にはゲートが閉鎖気味になっていたと思いました。現在は機能していると考えます。

議員

機能しているんですか。

担当課長

鵜殿港内のスイングゲートについては、圧力によって扉が開閉します。潮が高くなれば閉まってくるので、機能自身の問題と思います。

議員

過去台風19号の高波でゲートのピンが外れています。県の方に作動状況を伝えていたきたい。次にボックスカルバートと、コルゲートパイプの管理は県なのか町なのか。また耐久年数は。

担当課長

中曽川の系統は、上流の山間部からの雨水を鵜殿駅付近で集水させ、JR下の2ヶ所のボックスカルバートから各

水路を通り鵜殿港へ排出されています。JR下のボックスカルバートは、当時の国鉄が

施工を行い、警察署の下は、旧鵜殿村で施工。国道から海までの間は、昭和56年ころ、当時の貯木場を港整備により、木材業者の代替地として、三重県においてコルゲート管の埋設を行い、埋立て造成工事が施工されました。鉄道より南側のコルゲートパイプは、施工年数が30年以上経過、老朽化により、耐久性の懸念もあります。議員ご指摘の管理区分は、三重県と紀宝町において管理の役割などの調整を進めています。今年度、三重県が事業主体となり、鵜殿港港湾施設中曽川修繕設計業務委託を発注しております。内容は、排水路の現況調査、施設の健全度評価、浸水対策も踏まえ補修補強対策工法の検討をした上で、施工実施計画を作成し、今後の事業実施にあたっての課題を明らかにするものであります。この業務委託完了後に今後の事業実施について、三重県と協議を行い、役割分担を明確にし、管理所在についても、調整を進めていく予定です。

議員

このスイングゲートが壊れた場合のために備えて遮断ゲート等の設置が必要と私は考えますが、町長この問題について安心・安全を求める上において、町長はどうお考えですか。

町長

これからフラップゲートについては正常に作動するように県等にもお願いをしていきたいと思っておりますし、議員ご指摘のようにさらに安全度を確保する上においては、閉鎖するということも必要な問題になってくると思っております。

議員

かなり錆び付きが酷いという状況なので、県としっかり話をしていたら、今の調査を終えたあとに遮断ゲートも含めて対策をやっていたいただきたい。230世帯、550人の方々の命がかかっている問題だと私は認識しております。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.enomotokeiji.com/ipan.htm>)



北山 千恵 議員

・町長の政治姿勢について

― 町長の政治姿勢

議員

これからの町政を町長の公約を中心に質問させていただきまます。徹底した行財政改革で、経常収支比率を現況の90・8%から85%にのことでありますが、経常収支比率の構成は人件費と公債費が大きなウエイトを占めていると思います。合併時99・4%で県下で最下位でしたが、90・8%になったのは、多くの課長級の職員が辞められたのも要因だと思います。今年度も多くの方が辞められるようで、約5

294万円の減と予算書にあります。このことは経常収支比率にどう影響しますか。

担当理事

1・4%の減になります。

議員

85%の内、1・4%は町長や行政の努力ではなく、職員が辞めたことで下がっていると。総務省の資料では75%程度を維持することが望ましいとありますが、85%の数字的根拠と公約の議会中継や6年生までの医療費無料化で経費がかさむと見込まれる中、具体的な施策をどうするのか。

町長

合併によりスケールメリットを出すのは当然で、合併時3年間毎年約1億円の特別交付金があり、今は地方交付金も約3億円多く交付されていますが、平成27年度以降徐々に減っていくことになりました。合併後の数年間で行財政の基礎を固めることが最課題で、行財政改革を推進してきました。多くの退職者を出しましたが、今後も10年間で38名が退職します。職員の理解を得ながら、適正な人員確保と資質の向上を図り、物件費等も計画的に削減していきたい。

担当理事

85%にするための試案は、人件費、平成25年までに今年の収入役と職員9名の退職を含め23名が退職し、予算書での5名の新規採用を7名にしても25年度までの削減額は約1億円で2・5%、物件費は各施設の耐震診断や修繕、町有林のGPS測量・利用間伐も終了したので約1600万円の削減です。支所・分庁舎や明和小の閉鎖で維持管理費の減少や、今年交付された各種臨時交付金により各施設の修繕がかなり進むことから、約2500万円の削減が見込まれます。補助費の関係で、清掃センターの負担金減少見込みや、病院医師確保負担金が交付税で賄われることから約1600万円程度の減少、扶助費で子ども手当に変わることで国の補助となり、2600万円の削減、公債費は合併で事業が膨らみ、起債や償還額は増加したが交付税措置が増額されることから実質的に償還額が削減され約3400万円の削減で、医療費増加見込み額、約1300万円を引くと合計で2億800万円となり5・68%の削減見

込みです。

議員

公約の85%は、試算裏付けがあることだったのですね。

町長

ご指摘・ご不満がある中、思いきって進めた結果、90・8%まで下がったということですし、基金も7億円を越えるところまで来しました。町民の安心・安全や福祉の増進のためにも、強い信念を持って健全財政に努力していきたい。

議員

徹底した行財政改革を実施する上で、収入役を廃止すること以外に、まず町長自らの報酬の減額や退職金の辞退などで、経常収支比率を下げるため町長自らを律して、先頭切って行財政改革の旗振りをするつもりはないのですか。

町長

これから志を持って町政に参加しようという人のため、むやみやたらと削減するものではないと思っています。

議員

職員を新人に入れ替え、給料の差額で人件費を削減するのではなく、定年までちゃんと居りやすい状況で、残業しなくてもよい人事配慮とか、

電気代なども節約するとか、そのような形で経費を削減するため、まず自らを律し、私もこれだけ身を削ってやっているのだから君たちも頑張つて経費削減に努めてくれよと、そのような態度が見えたなら、もつと職員や住民にも町長はよくやってくれているなど感じると思うのですがね。今まで3人だった理事を5人にすることでトコロテン式に役職が増えると思います。が、経費的な上乗せ分はどうなりますか。

担当理事

管理職手当の分はまだ計算していません。

議員

この予算を組んだときには理事は3人の予定で5人にする計画はなかったってことですね。

担当理事

選挙の関係で骨格予算となっており、退職者と採用を加味した予算となっています。

議員

理事は5人も置くけれど、副町長も置くことなく、お一人で業務執行されるのですか。

町長

海外へ出張とかいろいろな

状況の場合、条例に基づき職務代理者が行います。多くの皆さん方から副町長を置いてはという声が上がれば、考える必要もあるかも分かりません。

議員

職員教育の一環で、幹部職員を民間団体に派遣とありますが、派遣を受け入れた側の評価はどうですか。

担当課長

熊野倶楽部に派遣させてもらったのですが、地元の職員が3日間いることでPRにもつながるし、職員から得るものもあるということです。

議員

職員教育として、経営感覚を持つて業務に携わってほしいというのは素晴らしいことですが、いきなり経営感覚といってもピンと来ないと思います。まずは家計簿感覚で業務に携わり経費の無駄を省いていただきたい。それから、住民参加で活力あるまちづくりの部分で、年配の方々から紀宝フェスティバルが鶴殿でばかり開催されることに不満をもっているとの訴えがあります。防災上も好ましくない港でばかり開催しないで、時には住民感情にも配慮し、以

前のように田代で開催してみるつもりはありませんか。

町長

フェスティバル実行委員会等で一番条件の良い所をとの要望もあり、会場における来場者への安全確保や駐車場の確保などで港が最適地であると判断しています。田代でははたるまつりもあり、光の祭典もやっていますので、地域的なバランスを取っています。

議員

先日のチリ津波のとき、避難勧告が出た時点で陸間が自動的に閉鎖してしまい、港にいた人々は閉じ込められたということも現実には起っています。そういうことも踏まえ、安全性をもっと深く考え、町長の鶴の一声で可能なことですから是非検討していただきたい。

※この他に、車庫証明、婦人科がん健診、保育所建設と行政の説明責任・説明義務についての質問を行ない、井田保育所の園舎部分の嵩上げについては6月議会での答弁の違いを質しました。持ち時間90分フル使用の質問ですので、質問を1点に絞り要約とします。



市川 潔 議員

・若者支援について ・行財政改革について

― 若 者 支 援

議員

不景気な今の時代において未来を背負う若者たちが、住宅を新築するということは大変なことです。若者の定住化対策の一環として、固定資産税の減税があるが、新築物件のみとなっております。紀宝町において住宅新築物件に対して、固定資産税が減額になった実績はどのようですか。

担当課長

若者に対する固定資産税の減額実績ですが、平成19年度は町全体で新築49戸で、19戸

が減免対象となり、33万1700円の減免を行っております。平成20年度には新築が31戸で14戸が減免の対象となっており、23万5300円の減免を行っております。平成21年度については新築が29戸のうち18戸が減免対象者です。

議員

固定資産税の減額は中古住宅購入者に対しても適用できないかお訊ねいたします。

担当課長

現在新築に限定しています住宅取得後8年間の固定資産税半額の軽減措置制度、中古住宅にも適用できないかということですが、近年の経済状況の悪化等により、新築よりも安価な価格により取得できる中古住宅を求められる若者も多数おられ、平成19年度で6名、平成20年度で5名、平成21年度で6名の計17名の方が購入されております。しかし中古住宅の取得については、譲渡の方法としまして、購入だけでなく相続や贈与、いろいろな方法が考えられ、対象範囲や問題点について今後検討させていただき進めてまいりたいと思います。

議員

中古住宅に関しては、いろんな諸条件が重なって、件数もかなりあるということ、前向きな検討を課長としてはしていきたいという回答がありました。町長サイドの方ではいかがですか。

町長

売却されて持ち主が変わったから急に評価額を変えろということについてもご理解をいただくには時間が必要になってくるだろうし、今後の不公平感をなくし、ご理解をいただけるようなことについて考えてまいりたいと思っております。

議員

町営の合併浄化槽においても、若者の住宅、新築並びに中古住宅購入に対して、設置費の減額できないか、担当課の方いかがですか。

担当課長

若者の住宅購入に対する減免ですが、財政的な負担や一部の方に対してのみの減額が適当かどうかということも含めて、まだまだ検討すべき課題があると考えておりますので、もう少しお時間をいただきます、検討を続けさせていただきますと考えております。

議員

これも町長の理解があるので、町長のご見解をお願いいたします。

町長

合併浄化槽の負担部分については、当初3割でやっていたと、皆さん方にもご議論いただいたと思っております。入札の結果が非常に安くなったことで、1割減じ、2割の負担でさせていただいたということでございます。

― 行 財 政 改 革

議員

行財政改革の紀宝町の現状を、まず担当課の方でお訊ねします。

担当理事

紀宝町の行財政改革の大綱が平成20年1月に策定され、それを受けまして紀宝町行財政改革実施計画が平成20年12月に策定されております。それに基づいて合併当初から、その実現に向かって取り組んでおります。

議員

実施計画書の進捗管理については、定期的に行政事務改善委員会を開催しとなつてい

ますが、どのくらいの間隔で行われているのか。

担当理事

10月までに5回開催されております。

議員

毎年度末に行政改革推進委員会に報告し、とあります。が、進捗状況の検証及び見直し等が行われたのでしょうか。

担当理事

21年度については行政改革の委員会を開いて報告はいたしております。20年度は実施計画の協議はしましたが、進捗状況等の報告はしておりません。

議員

副町長は置かないという話ですが、置いた場合の費用は。

担当課長

約870万円ほどになります。

議員

職務代理者を定める規則に、上席の職員は、理事、総務課長とあるが、理事は複数あるがどのように考えたらいいのか。

担当課長

理事の名称を入れて、その

順位までも決めさせていただきま

議員

行革の現状について町長のお答えは。

町長

行財政改革につきまして、鋭意取り組みを進めていただいております。事務事業の見直しにつきましても、行財政改革による実行のあるかたちになったと思っております。

議員

副町長に関しては、町長は激務で出張も多く必要性も考えられるが、住民の方が「紀宝町ぐらいの町で副町長はいるんか、置いたら費用も随分かかるやろに」と言ってた住民の方がいました。副町長についての町長の思いを聞かせてください。

町長

副町長につきましては、4年前から私も当分の間置かないということで取り組みを進めてまいり、これからも新たな職員等とも力をいただきながら、町民皆さま方のご期待に添えるように努力をしています。

議員

行財政改革のさらなる推進

は。

担当理事

経常経費削減、職員研修の推進、人事評価制度を導入し職員の意識改革、限られた財源の有効活用など取り組んでいかなければと思っております。

議員

町長の行財政改革のさらなる推進の決意のほどは。

町長

副町長がいない中で、行政運営ができるのかということもご指摘を受けていますが、私たちがしっかりと努力することとで、少しでも町民の皆さま方に還元できる財政基盤をしっかりと確立できる一助になれば大変ありがたいと思っております。

議員

町長のリーダーシップの下に、職員の皆さま、住民の方々と協働しながら、紀宝町の行政改革を進めていただきたいと思います。



地案 光徳議員

・西田町長の今回の選挙公約について
・井田保育所の建設について

他

選挙公約

議員

本年1月24日に投票票があり、その結果、西田町長が2期目の当選をされました。1期目4年間は徹底した行政改革を進める取り組み等で、経常収支比率を就任時の99・4%から90・8%に改善され、1期4年間はよく頑張ったのだと思います。そこで今期も徹底した行政改革のさらなる推進をはかるとありますが、具体的にはどうなのか。

町長

大きな要因として合併後多くの退職者が出ましたが、職員の理解をいただくなかで、機構改革などを通じて、できるだけ人員の補充を抑制し人件費を削減できたことが上げられます。今後も職員の年齢構成上、本年を含め10年間で38名が退職します。さらなる機構改革も視野に入れて、適正な人員確保に配慮し、職員の資質の向上を図りながら、人件費の削減に努めていきます。

議員

3分の1採用と聞いていたが、今回の採用率はどうなのか。

町長

大変申し訳ないですがこの4年間は3分の1採用を行っていません。私としてはまず必要な専門職の方の採用に努めてきました。医師、看護師、管理栄養士さんなど。これからもそういったことに十分配慮し、職員の資質の向上を図り、全体的な業務の運営等を見ながら適正な管理に努めてまいりたいと思っております。

議員

井田・飯盛保育所また成川小学校の改築、小学校6年生

までの医療費の無料化など、教育、子育て環境の充実とあります。この中の成川小学校の改築についての構想はどうなのか。

教育長

学校、保護者の方たちよりも改築に向けての要望もあり、現在改築に向けて準備を進めているところです。

議員

地域資源を生かした産業振興による雇用拡大の推進とあります。わが町の活性化を推進するにあたってはこれ以外にないと思います。町長諸報告においても新規就農者の研修開始、また、産業振興協議会などを立ち上げ、地域資源を生かして雇用の拡大につなげ、若い世代の方が参加できる支援体制に取り組んでいきたいと思っていると聞いています。町長さんはタイ国への温州みかん等の輸出調査などの視察をし、輸出の実現に向けて県や熊野市、御浜町とも連携をして支援をしていますとあります。町としてもいろいろな施策をされています、でも現実には雇用もなく働く場所もないため、働き盛りの人材は外に出て行きます。人

口減になっているのが現状です。そこでこの状態を逆に取って、この町の「海、山、川の恵みに抱かれ、ともに輝き創造するまち」、このまちの中に日本一高齢者がいる町を作る。これには千人くらい入所できる老人介護のための団地に建物を作り、全国から介護を必要とするお年寄りを募集をして、大規模な老人介護センターを造って全国一の福祉の町にすること。もし夢が実現すれば雇用等も拡大し活気ある町となるのではないかと。

町長

いや突然の提案でとまどっています、ただ他所の人に



現在の井田保育所

一遍に多く入ってきていたのだということとは、雇用は良いとしても、介護保険料の問題も絡んできますし、このような提案もいただいたので、全国的な事例も含めて調査、検討、研究をしていきたいと思っています。

井田保育所建設

議員

井田保育所建設地の嵩上げについて、旧井田小学校の跡地に保育所の建設が決まるまでは、いろいろな建設予定地が出ましたが、結局最後は津波対策として土地の嵩上げをした上で旧小学校跡地で良いとなったのではないかと。それを地域密着型小規模特別養護老人ホームと併設するとか。隣接する民家への日照権問題等で嵩上げをしないとしたり、今までのことはどうかというにならないか。

担当課長

津波浸水の件については、直接県の防災危機管理部の地震対策室に出向き、担当官のほうと確認をしたところ、国道42号線で高さ10メートルほどあり、この度の井田保育所建設

予定地付近は浸水は発生しないとのこと、通常の整地を行うことで9メートル以上の高さを保持できると考え、実質上は嵩上げをしないで建設するつもりでいます。

議員

何度も言いますが、とにかく井田小学校跡地に建てるというたことを地元住民は了解したのは、やはり嵩上げが条件だったと思う。ですから初めからしないということではなく、例えば1メートル・5メートルは上げた方がよいかと思いますが。

町長

そういったお話があったと私も思っております。安全確保については、しっかりと取り組みを進めないとイケないと思っています。全然嵩上げをしないという状況ではございませんので、地域密着型老人ホームと併設し、整合性も取り入れながら、また安全性も考え、保育所の屋上等には避難所を設け、近隣の皆さま方にも緊急避難場所として利用していただく所としたいと思っています。

(翌日、町長から次のような答弁の訂正がありました。)

町長

地元の協議等もあり、皆さま方のご意見等も踏まえて、建物については、整合性ができる限りの中で少しでも高くできるような計画を進めさせていただきますと思っています。今後とも検討し、安心・安全を図れるような保育所の建設に向けて取り組みを進めていきたいと思っています。

紀宝フェスティバル

と町民運動会

議員

みなとまつりについては、津波発生時には大勢の人の避難所の件やそれとは別に特に相野川周辺の住民よりは、鵜殿港ばかりですとの不満が充満している。でも昨年は深田グラウンドにおいて町民運動会を行っていた。この日はみんな一日楽しい思い出を作れたと喜んでいました。この2つの行事を年1回にして、交互に開催してはどうかと思うがいかがか。

町長

みなとフェスティバルには各種団体また町民みなさんに

協力していただき、盛大に行われて、元氣な紀宝をPRでき、また田代地区では文化展、光の祭典in紀宝、深田グラウンドでは町民運動会、神内地区では健康まつりと各地区で様々なイベントが開催されています。町内バランスよく開催されていると思いますが、山間部にお住まいの方々にも来場いただけるよう対応策を考えていきたいと思っています。



西村 喜久男 議員

- ・耐震シェルター設置事業について
 - ・循環型社会の構築について
 - ・営農飲雑用水施設整備について
- 他

耐震シェルター設置

議員

近い将来、必ず起きるとされる東海・南海・東南海地震の対策として、町としても家の耐震診断や、家具の転倒防止などの対策をしていたらいいのですが、耐震診断の結果、倒壊の危険と判断されても家の耐震工事となりますと高額でなかなか実施できないのが実情だと思います。以前、一般質問でも提案させていただいたことのある耐震シェルターは低料金で実施できるとお聞きしております。今回大変有効な設置事業だと思います。事業内容はこのようになっていますか。

担当理事

昭和56年以前に建築された木造住宅で、耐震診断で判定評点0・7未満と判定された住宅で、対象者は65歳以上の高齢者のみの世帯、または身体障がい者などが居住する世帯の住宅が補助対象となっております。シェルターは間口、奥行き、高さいずれも約2・4畳の立方体4畳半の部屋に収まる大きさで、内部にシングルベッド2台が置ける広さです。県が認定するメーカーのシェルターが6種類あ

り、価格は25万円から60万円となっております。設置を希望される方への補助金は対象経費の3分2で、限度額は25万円であり、22年度は3戸分を予算計上しております。

議員

この事業について、地元業者、地元の木材の活用についてのお考えはどのようなようになっておりますか。

担当理事

三重県がモデル開発したシェルターの材料については、「三重の木」認証材を使用することになっておりますので、鮎田地区、鵜殿地区にある町内3工場の認証製材の製品を使うことを奨励しております。施工業者につきましても、三重県が開催するシェルター施工する事業者向けの講習会を受講し、認証され登録していただければ、町内の建設業者でも施工できます。

循環型社会

議員

町営浄化槽整備事業について始まって2年近くになりますが、現在までの新規の数、切り替え数、寄付採納の数は

どのようになっていますか。

担当課長

設置数につきましては、平成20年度が90基、21年度が69基で、寄付採納は、20年度が13基、21年度が29基となっております。

議員

事業期間10年、設置目標1500基について、また寄付採納目標平成22年度420基はかなり難しい状況だと思います。100年に一度の不況というのを原因に上げられています。環境に対する意識の問題だと思います。今回の65歳以上世帯の減免処置は大変喜ばれると思います。ぜひ、対象世帯の方に呼びかけていただき、浄化槽整備推進の取り組みに理解していただき、設置基数を増やしていただきたいと思います。

町長

地元企業の育成、地域の経済の振興とあわせて水環境の向上に対する町民皆さまのご理解をいただきますよう努力してまいりたいと思います。

議員

浅里地区において水道整備事業が進められております。年々高齢化率が進み、早急な対策の必要な地区において有効な事業ではないでしょうか。整備事業の状況と、今後の見通しはどのようなになっていきますか。

担当課長

浅里地区の水道施設整備については、県営中山間地域総合整備事業において、国・県で85%、町15%負担で事業の計画がなされております。事業主体である三重県熊野農林商工環境事務所と紀宝町役場産業建設課及び、浅里地区代表者を交えた中で検討を重ねております。その結果、管理費用が安価な急速ろ過方式の浄化施設を整備していくこととして、維持管理や水道料金につきましましては、これまで同様に浅里地区で運営していくこととなります。できるだけ早く給水開始できるよう進めてまいります。

議員

平尾井、小畑、桐原など、他の未給水地域についての取り組みはどうですか。

町長

事業メニュー等も検討し、財政的に許せる範囲の中で、今後とも未給水地区について取り組みを進めてまいりたいと思います。

社会教育とスポーツ

議員

子どもたちの社会教育の場として欠かせない存在にスポーツ少年団があると思います。そのスポーツ少年団の出身の鬼屋敷正人君や、全国大会で活躍された矢渕中ソフトテニスの皆さんに対し、全国的に紀宝町の知名度を上げていただいた方や、団体の方に慰労金も含めた表彰制度の制定についてのお考えはどうでしょうか。

町長

これから紀宝町としての誇りを持てる状況の事案等が出てまいりましたら、そういう制度のことも充分検討していく必要があると思っておりますので、よろしく願います。※この他に、「循環型社会の構築」で太陽光発電機の設置、再生オイル車への取り組み、ごみのポイ捨て、不法投棄対策について、「

地域資源を生かした産業振興」で廃校を利用した民宿の経営者の募集の取り組み、などについて質問がありました。



阪本 守央 議員

・町内の融和について
・井田海岸の養浜他について

他

町内の融和

議員

町内の融和について質問します。先般の選挙結果のわずか18票差については、町長はいかにとらえておりますか。

町長

大変厳しい選挙結果であると厳粛に受け止めています。これからは一人でも多くの方

にご理解をいただけるように努力いたします。

議員

町長の町民に対する思いと3907票の相手方町民との間に、何らかの思い違いがあるのではと感じます。例えば茶屋地区の皆さんの避難路となる宇気津橋の早期着工はその一例です。下り場地区の町道拡幅、茶屋地、地下、上野の拡幅のための用地取得、広田前地線と狼谷団地の避難道の測量設計の実行、井田保育所の移設等、井田地区への町長の取り組みがかくもあるにです。

町長

井田地区においては今取り組み中で、まだ目に見えたかたちになっておりません。また合併によるお互いの意思疎通ができてなかったことも今回の状況に現れてきたのではないかと思います。

議員

今回の選挙の争点はいくつかありますが、その一つに旧紀宝町でやっていた田代の資料館前の広場を使った祭をやめてしまいい、みなとまつりだけにしたことも一因だと思います。旧紀宝町の住民にとり、

田代での祭に親子、孫、友だち、近所の人たちと連れ立って騒いだ1年に1回の出来事がなくなってしまったのですから、残念な気持ちが残っておると思います。合併後すぐやめたのは早計だったのではありませんか。みなとまつりは海のまつりとして、田代での祭は山のまつりとして、町長在任中の4年間の内1回でもいいですから、実施して町内の融和を図るつもりはありませんか。

町長

開催場所の選定には実行委員会等の意見を聞き、鵜殿港が最適地と判断しています。皆さま方のご意見を拝聴するなかで、今後進めてまいりたいと思います。

井田海岸の養浜

議員

井田海岸の養浜計画は変更されたのですか。

担当課長

今年度の実績は延長450メートル、ズリの投入量は7千立方メートルですが、ズリの小割り時の騒音が激しく、有効な対策が見出せないことから、海岸で

の小割り作業を見直さねばなりません。購入砂利による事業の継続を県に要望していきます。

議員

高浜に入れる人工リーフはいつごろになりますか。

担当課長

平成3年から始まり約2300メートルの間に10基完成しております。高浜については約950メートル、来年度から着手予定と聞いております。県の財政状況を勘案すれば早期完成は厳しい状況です。平成22年度の予定は30メートル聞いております。

困難事業でも主張する意義

議員

町長の諸報告の中で、紀州製紙西門付近からJR鉄橋までの800メートルに2・5メートルの歩道を設けるとあります。これまで多くの関係者の方々の悲願がようやく実現します。不可能と思われていた事業が可能になりました。例の井田駅南側踏切の拡幅もぜひ可能にしてください。

町長

この踏切に隣接して井田保育所と地域密着型老人ホームを建設しますので、避難路の整備も必要としてJRに強く働きかけていきますが、非常に厳しいです。しかし必ず実現させるという強い思い、使命を持って取り組みます。

学校教育

振興ビジョン

議員

全国学力テストは来年度からどのようになりますか。

教育長

過去3年間は日本すべての学校が行いましたが、平成22年度からは抽出調査となりました。

議員

和歌山は100%の利用、三重県は55・4%の利用と新聞に出てますが。

教育長

本町の約半分の小中学校が抽出されました。抽出外の学校の参加希望はありません。

議員

教育振興ビジョンは過去3年間の学力テスト調査結果をベースにとありますが、平均的なものに合わせてしまった

ら、飛び出ている子の芽を摘んでしまうような結果になりませんか。

教育長

全国学力調査の過去3年間の町内の子どものたちの検証結果をベースにしていますが、決して学力のある子どもの芽を押さえるようなことにはなっていない、むしろ、この振興ビジョンはそういう子どもたちもお互いに伸ばしていくと確信しております。

議員

基本方針2の国語はすべての教科の基本であり、国語科の授業を充実させ国語の力を児童生徒につけさせなければ、児童生徒の学習意欲、学力向上につながっていきかない。従って、国語科の授業を特に大切にし、国語力をつける。また読書が国語力の総体であり、人格形成に対しても、影響力は多大である。その充実、推進に努めるとあるが。

教育長

この基本方針2には、私の強い思いがそこに表れていると思います。その私の強い思いというのは、私の個人的な考えではなくて、私の今まで

の経験、そして現場で今ある学校の状況等踏まえた上で、この基本方針2というのを強く打ち出していると確信しています。

議員

これだけの見識を持って国語教育に取り組まれておられれば、町内の児童生徒たちは大いに成長することでしょう。

※この他に鳥獣害対策について質問がありました。



塩野 真議員

・平成22年度紀宝町学校教育振興ビジョンから輸出に係る市場調査について
他

学校教育

振興ビジョン

議員

2010年国民読書年をどのように考えているのか。

教育長

限られた予算や職員で、効果的に各種行事等の充実を図りながら、家族で読書に親しむ環境の整備を進めなければならぬと認識しております。読書年で強く意識することになると思います。

議員

紀宝町立図書館ではなく紀宝町立鶴殿図書館となっているが、紀宝町立〇〇図書館を後に整備していただけるのか。

教育長

紀宝町立図書館では他の地域へ図書館を建設できません。紀宝町合併時に、あえて鶴殿図書館という地名を入れて、今後紀宝町の町内へ読書を広めていく余地を残しています。

議員

新しい図書館を建設するのはお金もかかるし、必要性もないと思う。移動支所と一緒に移動開設図書館を隔日で行い、新しい本や推薦図書が住民の近くへ届くような環境作りの考えはないか。

教育長

学校と鶴殿図書館とがインターネットで結び付き、地域の学校を鶴殿図書館の分室みたいになれば、もっと活用できると思っています。

議員

相野谷小のような夏休みの図書館開放は、他の小学校において可能か。

教育長

可能でございます。相野谷以外今のところ要望はないですが、意見を聞きながら検討したいです。

議員

学校支援要員の配置状況と課題について伺いたい。

教育長

小学校で9名、中学校で1名、計10名です。紀宝町は非常に評価をいただいています。しかし10名のうち1名は教員の資格を持っていますが、あとの9名については資格を問わないということをやっております。支援要員は学校へ行くまでも指導ができない。あくまでも介助、支援ということになっています。

議員

人員配置は足りているか。

希望するが配置できない状況はないか。

教育長

昨年度の例ですが、入学する時点である程度把握できれば、その時点で配置を考えております。途中で問題が出た場合は、教育委員会が実際に子どもの様子を見に行き判断しております。

議員

対象者に関わる以上、最低限の知識、情報を得ることは支援する側、支援される側お互いにとって大切であるが、勉強会は実施されているか。

教育長

年1回か2回程度、支援要員を集めて障がいのある子どもに対する対応指導の研修をやっております。

議員

支援要員と先生方との情報を共有する意味のため回数を増やし、さらに良い支援ができるようにしていただきたい。次に医療機関他、外部の専門機関との連携が取れているか。

教育長

2年前に紀宝町特別支援教育連携協議会を立ち上げております。医療、保健、福祉が

連携を取り、適正な就学ができるようにしております。管轄の違い、個人情報等の管理等課題もあり、協議を重ねているところでございます。

議員

教育相談員が尾鷲に常駐している。難しい状況を専門的な目で分析し、相談したいときに相談ができる教育相談員を、紀宝町、無理なら南郡熊野に1人常駐できないか。

教育長

各学校に障がいのある子ども、在籍に関わらず、特別支援教育を担当するコーディネーターがおります。コーディネーターとくろしお学園が連携しております。紀宝町の教育委員会に、国、県なりの



紀伊井田駅

予算で相談員を配置していたければありがたいと思います。

議員

早い段階で関わることでその子の成長のために良いと思われる。少しでも早い段階で専門的な取り組みができるよう体制作りをさらに進めていただきたい。

――輸出に係る市場調査

議員

紀宝ブランドとして地域資源を使った加工品等に付加価値を付けて販売することに対し、どのように思われるか。

町長

それぞれの産業、営業所間の取り組み等の連携を取り、町として支援できる体制を作っていきたい。今後、産業振興協議会を含めて、紀宝ブランド等の産品が生まれてくればありがたいと思っています。

――商業発展

議員

道路網の整備により車で来られる方が増えると思われ

る。一極集中の道の駅の駐車場を拡大する考えはないか。

担当課長

駐車場の拡張について、三重森林管理署及び国土交通省紀勢国道事務所と協議しています。来園者数が増加し、現在の施設ではニーズに合わなくなることも予想されます。平成25年の開通までに、国・県及び地元とも協議を行い、駐車場の拡張に合わせ施設面の整備も検討していく必要があります。

議員

検討して、駐車場を拡張していくという認識でよろしいか。

担当課長

はい。行政としてもそういう方向で進めていきたいのですが、所有地が国、また国土交通省の道の駅の関係もござります。また地元の防風林等の問題もあり、今後詰めなければなりません。

――紀伊井田駅駐輪場

議員

紀伊井田駅の駐輪場は未整備だが、整備する考えがあるか。

担当課長

土地所有がJRとなっており、「整備を希望する場所は、駐輪場の大きさや場所、残る土地の広さなど慎重に検討させていただく必要がある」との回答です。まず駐輪場の整備を許可していただけるかどうか、土地所有者であるJRとの協議が必要です。JRと仮に町が駐輪場を整備するとすると、建設の許可が下りるかどうか、話し合いをさせていただきます。



平野 美津子 議員

・所信表明について
・総務課関係諸報告について

議員

行財政改革については町長の身辺経費から削減していただかないと納得がいかないと思います。支所の廃止のように本当にその地域が支所の廃止で疲弊していくのではないかと思われております。その地域にたくさんの方が住んでもらうような地域にすることを先に考えていかなければならないんじゃないかと思えます。経常経費比率が低くなつたと言いますが、投資的比率はどのようになっていますか。

担当理事

平成18年度マイナス15・4%、19年度5・3%、20年度16・6%（合併してから6・5%増えています。）

議員

交際費は慶弔費が大半を占めている。弔電も本人が行く場合は、メッセージを渡せばよい。経費削減をしているところでは1円も無駄にしている。今後の展望については、経済学部の先生が入って住民にきちんと展望を示しています。

町長

交際費については慶弔費に大半を占めています。住民に

不幸があった場合は、当分の間、今までどおり使わせていただきますと思います。

議員

今後はどの部分の削減をやるうと思っていますのですか。

担当理事

人件費は世代交代により5年間で1億円削減できると見込んでいます。その他合計で2億1千万円ほど削減できます。

議員

人件費の削減は年功序列の給料でしたらまた増えてきますから、町づくりをするのに、「ボランティアや区」に協力してもらうことが大事ではないか。そのためには、地域の皆さんの声が行政に反映するシステムづくりをしなから財政改革をやっていたきたい。経常経費比率は一般会計だけです。特別会計でも借金をしております。ただ経常経費が減ったから財政状況が良くなったということにはならないので、きちんとした情報を議会や住民に明らかにし、議会や住民も共に考えられる状況づくりに努力していただきたい。

鵜殿地区への避難タワー建設についてお伺いします。

担当理事

三重県が作成した津波浸水予測図及び被害想定調査報告書では、東海・東南海・南海地震が同時発生し満潮が重なったときは、最大6メートルの津波が12分で来襲し、なおかつ、鵜殿港の防潮堤などが機能しなかった場合、鵜殿地区では丘陵地を除く平地部が浸水すると想定されています。津波警報発令時に、近くの高台への避難に時間がかかる地域の避難タワーの建設は、設置位置の検討を進めています。計画としては高さ6メートル、床面積50平方メートル、100人収容で本体価格2100万円、用地費50坪で500万円、液状化対策及び、地盤改良費500万円で合計3100万円必要です。建設費の県補助金は上限で1千万円の補助があります。

議員

紀宝町の下水道サービスの社長さんである元環境省の官僚であった池田修氏は、「週刊金曜日」という週刊誌のコラムで、「ヴェオリアという会社は儲からなかったら引き上げますよ」とおっしゃっています。この事業を提案され

たとき、民間会社のノウハウを使って効率よく事業を進めることができるかと説明されましたが、平成21年度の実績は84基（公共の施設23基を含む）最低目標は170基でした。破綻しかけた事業にまた公費を使うのはいかがかと思っています。

担当課長

浄化槽事業で破綻をした例がまだありません。費用算定の比較、役場職員の事務量の削減、民活による経済効果が見込まれます。

議員

PFIでやっても進んでいません。だからと言って（65歳以上の世帯の維持費）半額負担するのは、住民無視だと思っています。

町長

合併浄化槽本来の目的である公共の水環境を良くしていくという趣旨に基づいてこれから取り組みをし、1人でも多くの方々のご理解をいただく中で、水環境の整備を図っていかねければならないと思っています。

総務課関係

議員

選挙は民主主義の根幹に流れているものである。選挙に対する信頼性がなくなればこの政治形態は崩壊する。したがって選挙管理委員会は厳正中立を保持しなければならぬ。これは上野登氏の公開質問状に書かれています。私も同感です。異議申出がされるような開票場の雰囲気がつくられたことは、選挙管理委員会の責任である。異議申出を棄却したために、なぜ票の点検ができなかったのだという声を上げています。異議申出は民主主義のルールに則った権利です。「選挙管理委員会が選任した立会人の家族の1人が一方の候補を応援している、何ら法には抵触しない」と広報には書いていたが、ある「法学通論」では、

選挙管理委員の身内の選挙活動は、自粛することが暗黙の内に入っているということですが。選挙管理委員の身内の者が特定の候補者の支持者で、盛んに選挙活動をしていてひんしゆくをかつている例があります。こんなことは社会通念上許されないことです。選挙管理委員の資格は「人格は

高潔で」の中には社会通念上の認識も入ってくると思います。投票用紙は有効投票と無効投票に分けたそうですが、有効票すべてが一つの袋に入りましたか。

担当課長

A4サイズが入る封筒、角2型というそれに、無効票だけ1枚の封筒に入れ、有効票についてはその残りすべて7832票になりますので、1枚の封筒に入りまするわけではありません。いくつの封筒に分けたか記憶にありませんが、立会人、選挙長の面前で、何枚かの封筒に有効票として入れ、封印をいたしました。



所信表明する西田町長



向井 健雅 議員

- ・町長立候補時の公約について
- ・町イベントについて

立候補時の公約

議員

先の選挙で5つの公約を掲げてタイトルは、「未来にむかってさらなる前進を」ということから出馬をされたわけです。その5つの中で、まず、地域資源を生かした産業について質問をします。町長が1期目の出馬の折に産官学ということも掲げておられました。そのことについてこの4年間、まったく見えてこない感じがいたします。地域資源を生かした産業振興による雇用拡大の推進ということでは

が、この4年間でもっと具体的に突っ込んでやっていただきたいという思いがあります。担当課の決意をお聞かせいただきたい。

担当課長

Webシステムによる産官学の事業として、インターネットによる情報発信で地域の産業の活性化をする目的で取り組みをはじめており、当初、紀宝町物産振興会へ声をかけまして、いろいろとインターネットによる情報発信とかたちで研修会なり、インターネットの講習会を開催しております。今のところ4店舗参加をいただき、個別にコンピュータ等の技術に、操作についての検討をしております。また、近大高専の先生による指導により、この4月に稼働ができていくのではないかとという見通しを立てております。今回商工会がダイレクトメールによるふるさと販売も考えておりまして、それに対してもWebシステム等利用して会員を増やし、講習会等を実施して、進めていければと思っております。

議員

雇用創出については大変難

しい問題だという気もしますが、平成25年を目途に熊野までの高速道路がつくという計画で進んでいるなかで道路だけではなく、それに対する対応をもっと地域の産業を考えていかなければならないと思います。これは民間の提案も力も必要でしょうけれども、行政としてできることを考えていくのも大変重要なことであると思います。その点について町長の考えは。

町長

この地域、紀宝町においても、産業の振興は本当に重要課題ですし、合わせて雇用という問題が必ずこの地域の振興のためにかかせない大きな課題だと認識をしております。しかし、今日までのなかで、この4年間、私も自分なりに一生懸命取り組みをさせていたいただいたつもりですが、なかなか目に止まるといったかたちの振興策に手をうつことが非常に難しかったという状況もあります。その中でWebシステムの開発等もこの春からいよいよ運営ができるというところまでできましたし、紀宝町の物産振興会の皆さま方のご協力をいただくな

かでも物産振興に、これからの必要があるのではと思っております。特に道路の完成等踏まえるなかで、これから交流人口というのは増えてくるということとは、予想されるわけで、そういった状況に対応できる地元ブランド品の創出も大きな課題ですし、これからの紀宝町の振興のために、産業関係・地域の皆さんともに、知恵を出し合いながら、これからの時代に対応できる市街地形成なり、物産販売の対応を進めてまいりたいと思っております。

議員

カメ公園の横の拡張ですが、駐車場にというだけではなくて、スペースを設けて、産業振興に何かかたちのあるものの考えがあればお聞かせを願いたい。

担当課長

防風林のところを今年補助事業をいただいて、一帯を見晴らしの良い状況に刈り取りをしました。相当いい景観となっておりますので、遊歩道的なものもできればと考えているところですが、遊歩道等つける場合には、環境省の土地

ですので、占用許可や占用料金等も絡んできます。いろいろと協議をして進めていかなければならないと思います。

議員

とにかく紀宝町の発展のキーワードは人口にあると思います。人口が減れば発展というものはまったく望めないと思いますので、是非とも、お互いに知恵を出しあって、勤められる所が創れるようなことを考えていかなければならないと思っております。

町イベント

議員

昨年町民運動会を開催していただきましたが、大盛況だったと思います。反省点と問題は。

担当課長

昨年、合併後初めての町民運動会はお陰さまで大いに盛り上がりました。町民の健康増進、体力の向上と紀宝町のさらなる融和を目指し、多くの町民の方々が集い、楽しい雰囲気の中で気軽に参加し、大いに親睦と融和をはかっていただきました。関係者の皆さま方のご協力に深く感謝申

し上げるとともに議員の皆さま方にあらためまして感謝申し上げます。競技種目の内容について反省すべきところがありました。参加者にご迷惑をおかけした種目がございます

して、予想よりも内容が少し難しく、大変時間もかかり参加者にご迷惑をかけたと思っております。当日会場へ、高齢者等々のために車いす等を置く、その配慮もかけていたのではと思っております。問題点としましては、実施時期です。秋は町のイベントが集中しております。いろいろ関係団体等々と協議を重ねるなかで、11月の実施時期となったのですが、秋はみなとフェスティバル、防災訓練、芸能フェスタ、文化展など多々イベントも集中しております、お願いしたスタッフ等もいろいろ重複しております、大変だったのではないかと思います。

議員

大変苦労したことも耳にしておりますし、見ている側としても大変楽しく大盛況に済んだなという気もいたします。この町民運動会を、今後、2年に1度や4年に1度とい

う考え方は持っていないのでしょうか。

担当課長

他の町イベント等の兼ね合いの中で、何年かに1回のペースで実施する方がよいのじゃないか等々の意見もありまして、22年度に入りましたら、町体育協会の会議等々でも今後の運動会について検討していただくよう考えています。今後、運動会を実施する年には、さらに盛り上げていければと考えますし、各地区の区長さんをはじめ、運営をお願いする関係者の方々に一層のご理解、ご協力をお願いしていかなければと考えるところです。

議員

紀宝みなとまつりの問題ですが、田代という意見も出されました。スペース的に駐車場の問題が、港のスペースと比べますとやはり大変収容能力的に問題があるんじゃないかなと。感情的には田代でという思いもないこともないのですが、実際その場所であるということになると今のスペースでは大変難しいという気もいたします。今の田代でやるのであれば、もっと田代

地区の開発をしないと無理ではないかという気はいたしました。その開発をしまでやるという考えはありませんか。

町長

田代地区もこの4年間、ほたるまつり、光の祭典、文化展等々含めていろいろなイベント開催も行ってきていただいたところなんです。剣道大会やいろいろな大会があるわけですが、そういった部分については、場所的に車で行かなければいけないということで、駐車場等も非常に収容能力が少なかったということなんです。公園の一部を、少し改修をいたしまして、低く押さえて駐車場としても利用できるし、また要望の強いグラウンドゴルフとしても利用できるそういった要望もいただいております。そういうなかで利用できなかったのなかで利用できないかということで改修をさせていただいてきたところでして、町民皆さま方のそれぞれの利用の仕方、形態っていうのもあるだろうと思っておりますので、今後とも皆さま方のご要望等お聞きするなかで、少しでも改修できる部分があれば、改修をして広く皆さま方

にご利用いただける田代公園であり田代体育館であるように努力してまいりたい。

議員

田代周辺には桜を植えた道もございます。開発とまでい

わないまでも、少し手を入れられる状況っていうのか、考え方も必要ではないかという気もします。そのへんのところも十分考えていただきたと思います。最後にこの4年間を通じて合併というのは大変難しいなという思いは僕自身もありますし、町長自身あったと思います。ただ今回掲げた未来にむかってさらなる前進をとということで、紀宝町がどういうふうに向かっていったらいいのかなか



町道倉元3号線

で、難しい問題も果敢に挑戦をして、今後もさらなる努力を続けていただきたいという思いです。どうぞよろしくお願いを申し上げます。



登立 元吉 議員

・町道倉元3号線について
・農業問題について

倉元3号線

議員

予算の立案も執行も町長の権限であると同時に義務であると考えます。その観点からお訊ねいたします。倉元3号線については史跡（埋蔵文化財）の問題があつて、工事が一時中断しました。さらのその延伸部分については、この

1年間まったく手が着けられませんでした。その間、私からもまた地元からいろいろなと助言させていただきまし
た。お墓等の調査についても
地元の方々の協力を得たところ
です。でもこの1年地元への
説明は一度もされていません。
長年待ち望んできた地元の気
持ちは町執行部の方々は理解
していないのではないかと。説
明責任さえ果たしていない、
この1年間は何だったのかを
お訊ねいたします。

町長

倉元3号線については議員
指摘のとおりです。この部分
の文化財に対する認識が甘か
ったことを反省いたしておる
ところです。文化財をどう守
っていくか、また地元の要望
である道路をどうしていく
か、整合性を取りながら進め
なければと苦慮しているところ
です。地域の皆さんへの説
明の足りなかつたことも反省
し、十分検討してまいりたい。

議員

所管である教育委員会は、
この件について1年間何をな
さいましたか。

教育長

教育委員会としては文化財

を保護する立場です。埋蔵文
化財のある地域で工事をする
場合、家を建てる場合は、た
だちに教育委員会へ調査を依
頼しなければならぬ。その
依頼があれば職務として調査
をしなければならぬ。そう
いう立場です。現在のところ
調査せよという依頼は受けて
おりませんので教育委員会と
してはこの1年。

議員

依頼がなかつたから何もし
ない。責任がないと言わんば
かり。問題が起きそうだった
ら、その段階で注意を促すと
いう責任もあると思うが。行政
のあり方はこんなものですか。

町長

京城跡をどう守っていく
か。また地域の利便性も考え
ながら、そういったところを
十分検討しながらお互いの持
ち場をしつかりと遂行してい
くということだと思えます。

議員

この件については町教育委
員会がクレームをつけたわけ
ではない。たまたま通りかか
った県の方の問いかけで分か
ったわけです。職務怠慢と違
いますか。さらにこの1年間
は何もしなかつた。

町長

調査自体のところまで至つ
ていないということ。産
業建設課と県の埋蔵文化財セ
ンターとの連携を図りなが
ら、意見調整をしながら今日
まで来ているところです。

議員

産業建設課と県、でも教育
委員会は知らない。私はここ
に違和感を感じます。問題が
持ち上がれば、まず町の中で
所管が違つてもそこで協議す
べきではないですか。複数の
所管にかかわる問題の調整で
きる機能が必要。町長がすべ
てやるというのは大変なこと
です。本来これは副町長の業
務だろうと思えます。結局、
産業建設課と教育委員会との
間で建設的な議論がなされて
こなかつたところに非常に大
きな要因があると思えますが。

町長

倉元3号線については私も
前向きに考えていきたいと考
えておりますので、ご指摘の
ように教育委員会、産業建設
課が力を合わせて連携を取り
ながら進めてまいりたい。

議員

早急に方向性をはっきりさ
せ、地元説明会をされるよう

要望しておきます。

農業問題

議員

戸別補償についてお伺いし
ます。主食用米の過剰という
ことから出ている問題です。
でも当地域の稲作農家の実感
するところではないと思いま
す。戸別補償の要件を考える
と、売れるから全部作ります
といった考えもある。農業経
営のビジョンの無いままでの
戸別補償です。有機農業法を
作つたけれども、そのからみ
でのビジョンも出てこない。
稲作農家の取り組みやすいも
のといえれば新規需要米だと思
います。現有の設備で対応で
きます。しかも10戸当り8万
円になります。ただ問題は売
り先を自分で探さなければな
りません。もしJAがかかわ
つたとしても経費倒れになる
と先日報道されていました。
この施策を進めるにあたつて
町長はどういう指導をなさ
いますか。

町長

大変難しい問題です。政府
にしたら8万円という大きな
助成をするんだからといった

思いかもしれないが。このこ
とについてはJA等の力をお
借りしなければと思つていま
す。

議員

このへんのところを行政が
どうかかわり指導し支えるか
ということになってくると思
います。もし余分な経費がか
ければ町として何らかの助成
をしますか。

町長

新規需要米については県や
国、またJA等のお力添えを
賜るよう努力してまいります。

※この他に、高速道路、河
口大橋、町長の政治姿勢に
ついて質問がありました。

石垣 憲一 議員



- ・町長公約について
- ・町債、基金、交付税に
ついて

・経常収支比率90・8%
から85%の説明

町長公約

議員

小学生の医療費無料化について、全員協議会では1202万円必要と説明を受けましたが、今回の議案書の説明では1300万円上げてました、説明をお願いします。

担当課長

医療費自体は1200万円強ですが、対象者の増とそれに伴う事務経費を見込んでいます。

議員

6歳までの医療費はどれほど計上していますか。

担当課長

前年どおり1163万3千円となっています。

議員

1300万円程度でできるのであれば、もっと早い時期にやってほしかったという思いがあります。それと15歳までというのは、三重県の市町ではいくつかの行政が行っていますか。

担当課長

平成22年4月以降、7市町が予定をしています。

議員

15歳まで紀宝町がやるとすれば試算はできていますか。

担当課長

単純に計算しますと、600万円ほどになると試算しています。

議員

トータルで3063万3千円なら、15歳までやってほしいと思いますが。

町長

15歳までやらせていただけたらいいと思いますが、合併当初は基金が2億円、経常収支比率の問題と、いろいろ財政的にも問題がありました。県の方からも1163万3千円の半額が助成されるようになり、町の負担も少なくなり、また町財政も明るくなってきました。県との制度の整合性の関係等々を踏まえて6年生までを新たにしていきたい。中学生までの部分については、財政状況を踏まえながら検討していきたい。

議員

現物給付（治療費を窓口で立て替えずともよい）にはできないのか。

町長

おっしゃるとおり県の方にも働きかけていますが、まだ理解されていません。これからも県、連合会、また皆さま

方にもご理解いただけるよう努力していきたい。

町債、基金等

議員

基金、起債、平成21年度末の説明をお願いします。

担当理事

地方債の残高は平成21年度末現在の見込みで、一般会計では73億3347万6千円。一般会計の基金で21年度末の残高予定が18億2524万1千円となっています。

議員

一般会計と特別会計を含めた金額は95億1093万4千円の起債でよいのですか。これに交付税参入額を計算するとどうなりますか。

担当理事

一般会計の21年度末見込みでは起債残高が73億3347万6千円。このうち交付税参入額が50億3736万6千円となっており、差し引き22億9611万円が町の純粋な負担ということになります。さらに起債返済に充当可能な基金が8億9218万6千円です。これを引きますと14億392万4千円となります。

す。水道事業特別会計、町営浄化槽整備推進事業特別会計を含めた全体でみると、起債残高が95億1093万4千円、このうち交付税参入額が50億6939万8千円で、差し引き44億4153万6千円が町全体の純粋な負担となります。さらに起債返済に充当可能な基金が10億1567万6千円ですので、これを引くと34億2586万円ということになります。水道事業特別会計は独立したものであつて、本来、合算できないと思つております。1人当りの負担額は28万5千円程度になると思います。

町長

トータルでは34億2586万円となっておりますが、純粋に町行政を運営していく上においては14億392万円となります。約20億の水道会計においては独立採算制でやっていることではならないというところで、できるだけ健全運営で収入によって返済していくという体制をとっていききたいと思っております。

議員

今までのシミュレーションは期待はずれが多かったように思いますが、理事、あなたは何%当たっていると思いますか。

担当理事

一応、無理をせずにはじいた数字というふうに、自分では計算したつもりです。

議員

何年で85%ですか。

担当理事

平成21年度も含めて5年間というところで、平成25年度です。

議員

90・8%という数字は県下で何番目ですか。

担当理事

18番目です。

議員

町長、経常収支比率85%が一つの目標と言いましたが、それ以上の努力は。

町長

それ以上進めばベターだと思います。これから先いろいろなことを検討しながら、財政の状況等、そして地域住民の皆さまのご要望にできるだけ対応するなかで、健全に財政運営ができていく部分も模索しながら、しっかりと取り組みを進めていきたいと思います。

経常収支比率



鈴木 學 議員

・与党体質を炙り出す（行政への苦言）
・ヘルス・ツーリズム「健康旅行」（行政への提言）

与党体質

議員

公約に従って一般質問させていただきます。久しぶりで、空気が読めずにピンボケの質問はまずいので1番最後の方にさせてもらいました。それでは、一般質問に移ります。前半の与党体質を炙り出すときは1歩半離れ、逆にヘルス・ツーリズムのような提言は歩み寄ったかたちで申し上げたい。与党体質というのはどんな体質なのか。職員数の変化を簡単に教えてください。

担当理事

平成22年度の4月1日現在では2人減で126名になる予定です。

議員

退職される人数と4月に新規に採用される人数、個々に教えてもらえます。

担当理事

21年度の末で退職する職員数は9名。平成22年の4月1日に採用予定の職員数が7名ということマイナスの2。

議員

先ほどから経費削減ということで、年々採用される方はわずかに減ってきている。それには敬意を表しますが、今年7名採用ということで、今年の年度と比べこれで普通、それとも多い、どちらかな。

担当理事

はい、今年は採用が7名ということ、通常よりは多いです。

議員

どこの自治体でも選挙の年は採用人数が増えるのは常識。そういう細かいことはい。しかし、その採用地域がちよっと気になって確かめた。7名の方の採用は旧鶴殿・旧井田・神内とか大まか

で結構ですから、満遍に選ばれたか。それともどっかに偏っているか、そのへんだけお聞かせください。

担当理事

この7名の地域別の内訳となるんですけども。井田の地域で5名、鶴殿で1名、それから高岡で1名となっております。

議員

ちよっと井田地区の突出は、常識で考えて多いじゃないかな。今年の課題「井田保育所の建設」と「特別養護老人ホームの建設」これが政治的にハードルの高い問題だけに。邪推なんかしなくてもええように分かりやすい政治をしてもらいたい。次に井田保育所、特別養護老人ホーム建設は、10月か6月ぐらいに井田保育所の話で「高上げ」を前提に井田小学校跡地に造ることを地元が了解したと聞いた。通常の民間の契約だったら前提条件が崩れればその契約は破棄のはず。そのへんの整合性はどんなもんですか。

担当課長

それでは鈴木議員にこの今回の建設に至った経緯をまずお話しさせていただきます。

最初に特別養護老人ホームありきではなくて、まず順番として保育所の建設を最優先させていただいた、その結果、同時期に重なってきたということでございます。

議員

それと、職員が決まっていると聞いたが、この建設が議会で決定されたこと踏まえて採用したんか。そうじゃないか、その点。

町長

宝寿園のことですので、ここでお答えするというのもどうかと思いますが、私も管理者という立場で、お話しできる分については情報といたことでお話しをさせていただきますたいと思います。要するに地域密着型。

議員

肝心な質問にはご返答もらえなかったみたいなので、再度。

町長

はい。すみません、職員につきましてはですね、今、退職者もございましたし、その補充を含めて、またこれらの将来を見据えた上でこの2月7日に採用試験をさせていただきます、採用させていただきます。

いたところでございます。

議員

最初に申し上げたように簡便に説明お願いします。町長さんも3日間で疲れも相当出ているので、次にいきます。異議申出について、私は却下せずにあの申し入れがあるときに立会いの下で開示して、白黒はつきりさせた方が良かったのじゃないかと思っております。一度そういう疑義が生じたら、蓋はできません。町政の混乱を素早く回避するためにも、早く開示し白黒をはつきりさせた方が良かった。問題がまだ片付いてないのか、それとも片付いたか、どっちなのか。



旧井田小学校跡地

担当課長

はい、おっしゃるとおり三重県選挙管理委員会に對しましての審査申立については、公職選挙法に基づいて三重県選挙管理委員会は60日以内に裁決を行うということになっております。それでどのような裁決がでるかというのは、現段階におきましては想像というかたちになつてしましますので、控えさせていただきますたいと思いますのでどうかご理解お願いいたします。

議員

実はそういうお答えが返つてくると、「インターネットの事例」を調べてきました。まず県でも却下、選挙立会いの下で開示、無効の判断を出すケースもありましたね。また事例ではいずれも市町村での選挙管理委員会はずべて却下。裁判を通じ「失脚」や「くじ引き」のケースもありました。この現実を知れば「まだこの問題は決着してない」という認識をもつべきだ。「1票差でも勝つたら勝ち」と浮かっているのじゃなく、事例で見られる「厳しい法律の現実」を見据えてやるべきだと思う。そういう意識

も多少持たれて町政の運用をされてほしい。

担当課長

はい、ただいまの議員のご指摘ちょうどいいいたします。ありがとうございます。そして紀宝町選挙管理委員会では議員おっしゃるようにもう決着はついたというふうになつて考えておりません。

ヘルス・ツーリズム

議員

次に移ります。私言っているヘルス・ツーリズム（健康旅行）の概念ですけども、エコ・ツーリズムの方が通りがいいのじゃないかと思ひます。ちょうど6年ほど前にエコ・ツーリズムを作られた橋川先生のツアーの勉強会を1年ほど受講したことがあります。その際もエコ・ツーリズム目的のこの地域の経済のバイにはあまり影響が薄い。今後のことを考えたら「健康旅行の方が、バイの広がりを見込まれるのじゃないか」と反対の意見を述べ、それ以降ずっと健康旅行の概念の研究をしてまいりました。エコ・ツーリズムはこの地域の主流で

す。私は選挙終わった翌日のテレビ番組でNHK見ましたら、ちょうど尾鷲市と三重大学が4千万円の予算でもってヘルス・ツーリズムの研究を始めた放映を15分して流れました。6年経ってみたら時代の流れが変わつた。この概念を取り入れてやればもつともつと雇用を少ない費用で効果出す可能性を感じる。

最後に、独裁と言われない行政運営をしていただきたく要望して終わります。

※この他に、身近な生活上の安全・安心からについての質問がありました。



大石 洋 議員

・河口大橋について ・防災対策について

——河口大橋

議員

河口大橋の建設促進と、今後の取り組み方についてお聞きします。平成18年と20年、熊野川河口大橋の建設を求める総決起大会が開催された経緯があります。夢が叶えるかなというとき、政権交代となりましたが、42号の停滞が厳しく、県境に2本目の橋の実現に向かって取り組んでいただいたいと思います。

町長

熊野川河口への架橋については、決起大会などを通して、その必要性を声高らかに訴えてきたところです。この間、国土交通省・三重県・和歌山県において、平成16年度から、事業調査費をつけて、和歌山県が実施主体となり調査していただいております。平成21年6月には、三重県・和歌山県知事連名による「熊野川下流域の新たな道路整備に関する提案・要望」が国土交通省に対して、提出されました。また、平成19年度から、国土交通省が調査主体となった環境アセスメント

調査の事前調査が行われており、架橋に向け期待が高まってきたところとす。21年度の国の直轄調査については、これまで3千万の予算で、報告をいただいたところですが、入手した情報によると、新宮地域の動植物調査業務は新宮市の三輪崎地先から紀宝町の成川地先にかけて調査が行われたと聞きをしています。もう一つが生活環境の状況を把握することとす。平成21年の9月から22年の3月までにかけて調査が行われています。もう一つ新宮地域における過年度の設計業務の成果をもとに、P Iプロセスにより得たルートに対する配慮事項等及び将来交通量推計、費用便益分析を考慮した紀勢線、新宮・県境のルート構造の検討、I C設計検討、協議資料の作成等の調査設計を行うということとす。平成21年7月から22年3月にかけて新宮市地先から紀宝町神内地先にかけて調査が行われたという、情報を入手しました。総額で、近畿地建、中部地建合わせて、4341万円の、契約金額になったとす。一方で、道路特定財源に

については、一般財源化に対する現在の情勢には、いささかの憂慮を感じるところですが、熊野川河口大橋のように、地域から切望される「必要とされる道路」は、今後とも着実に整備すべきものと考えています。必要とされる道路整備を計画的に進めるための安定的な財源確保とともに、近畿自動車道紀勢線との整合性のもと、生活道路の機能を兼ね備えた熊野川河口大橋の一日も早い実現に向けて、高速自動車道の整備までの過程が変更するなどの情報を収集する中で、当区間が新規に事業化されるよう効果的な取り組みを進めながら、熊野川河口大橋の早期着工を求めています。

議員

今後も緩めることなく、陳情、要望に携わってまいります。う、よろしく願います。

— 防 災 対 策

議員

津波浸水における中曽川対策は、今後どのような計画があるのか。特に中曽川の今のスイングゲートの対応ですが、津波襲来ときに、現況のスイングゲートで対応できるのかどうか。

担当課長

中曽川排水路のコレットパイプについては、施工年数が30年以上経過していることから、老朽化による耐久性の懸念がされています。今年度において、三重県が事業主体となり、鵜殿港湾施設（中曽川）修繕設計業務委託を発注していただいています。内容については、排水路の現況調査を行い、施設の健全度を評価し、浸水対策も踏まえた補修補強工法の検討をした上で、施工実施計画を作成し、今後の事業実施にあたっての課題を明らかにするものです。この業務委託完了後に今後の事業実施について、三重県と協議を行いながら、三重県でやるべきこと、町でやるべきこと等の役割を明確にし、浸水対策も踏まえた補修補強を進めていきたいと考えています。管理所在について

も、調整を進めていく予定です。東海・東南海・南海地震による津波対策については、港湾管理者である三重県とも協議・検討を行いながら、現在、設置している防潮扉のスイングゲートの状況についても十分注意しながら、また、津波対策における遮断ゲート等も視野にいれながら、住民が安全・安心に暮らせるような災害に強いまちづくりを進めていきたいと考えています。

議員

遮断ゲートも含めてというお答えですが、やはり町が先行していかないことには、まずスタートはそこからですので、町長の答弁も。

町長

中曽地区の皆さま方については、スイングゲートの、正常な操作、動作がなくなれば、津波等に対する対応に大変、危惧をしているということもお聞きをしていますので、まず正常に運転できるという確保も大事ですし、将来的には検討していかねければならない問題だろうと思っていますし、合わせてコレット管が大変老朽化も見えてき

ているということですので、今後県等へ是非ともそれらの実現に向けて、強く要望していきたいと思っています。

議員

町長のお答えをお聞きして、今後よろしくお願いしたいと思います。次に、波静橋の耐震と、今後の計画についてお訊ねします。

担当課長

当該橋梁については、鵜殿地区の旧国道に架かる昭和36年に架設された、国道の切り替えにより、当町が管理しています町内の橋梁の中でも、非常に古い橋梁です。平成17年度に簡易的な調査を行った結果、老朽化とともに沿岸部に近接していることから、上・下部工の塩害による老朽化及び腐食が現れているのが現状です。費用対効果を考慮した結果、今後、新設に架け替えをしていくという位置付けとなっています。平成17年度より、地方道路整備臨時交付金事業において、地域間を結ぶ主要幹線道路に架かる橋梁について、耐震補強工事及び架替え工事を計画的に進めています。波静橋の架替えについては、平成23年度より2

年間での整備を予定しています。今後も主要橋梁について、耐震調査及び橋梁点検等を実施し、落橋させないための維持修繕計画を策定しながら、橋梁の長寿命化に向けての取り組みを進め、安全・安心で災害に強いまちづくりを基本に進めてまいります。

議員

平成23年度から工事にかかるといってお話ですので、是非それに向かってご協力いただきたいと思っています。



鵜殿小ランチルーム見学

議員先進地視察研修（2月9日～10日）

～3市の生ごみ堆肥化事業を視察～

愛知県豊明市

豊明市は名古屋市の東側に位置し、名古屋大都市圏の近郊住宅都市として人口が年々増加。平成21年4月時点で約6万9千人。面積は23・18平方キロで、紀宝町の約3分の1程度の市である。

豊明市は、「有機循環都市」を目指して、生ごみを新たな有機資源と位置付けし、焼却処分するのではなく、堆肥に変えてもう一度大地にかえすというように、消費型社会から循環型社会への移行を進め、生ごみの有効利用と可燃ごみの減量を目的に生ごみ堆肥化事業を平成11年度から着手しました。

豊明市では、家庭からの「燃えるごみ」が年間1万2千トン排出され、そのうち約47



%が「生ごみ」で占められている。また平成11年度830世帯で生ごみ分別収集がスタートし、現在では市全体の約3割程度の8000世帯を対象に行っています。

生ごみの収集方法としては、週4日の「燃えるごみ」と同じ収集日に市から無料配布した専用袋に入れて市の委託業者が収集を行っている。

集められた生ごみは、堆肥化施設「豊明市沓掛堆肥センター」で堆肥として生まれ変わります。

堆肥の製造方法としては、生ごみを原料に、粉碎もみから、牛ふん堆肥などの副資材を混合し、また重機による切返しなどを行いながら、約3カ月以上かけて発酵させて堆肥を製造します。

またできた堆肥については「とよあけEco堆肥」として市内で販売も行っています。

生ごみ堆肥化事業の推進には「住民意識の合意形成」や「コスト増の問題」、「堆肥活用の普及」など多くの課題があり、これらの課題の解決が必要である。

豊明市役所にて



沓掛堆肥センターで現場視察



岐阜県岐阜市

岐阜市は岐阜県の県庁所在地であり、中部地方における政治、経済、学術、文化等の主要都市である。また平成18年1月1日、柳津町との合併により、面積202・89平方キロ、人口42万人を擁する新たな「岐阜市」が誕生した。

岐阜市では、コンポスト・ボカシ等による家庭での生ごみリサイクルを推進してきました。しかし「堆肥の活用用場がない」、「市民意識だけでは長続きしない」、「個人でやるには手間がかかる」等家庭での自己処理に依存する方法には限界があるということで、平成11年度から全市的に取り組めるかどうかの事業性を検証するため、試験的に5地区523世帯参加で「生ごみ堆肥化モデル事業」に着手しました。

現在では1200世帯余りから分別排出された生ごみを週1回収集しています。

収集方法としては、半透明の生分解性処理袋を使い、各

家庭で1週間分の生ごみを密閉容器の中に保管します。つぎに、5〜8世帯ごとに設けた集積場所の大型回収容器に、家庭から持ち寄り排出してもらい、それを市が委託したNPO法人が軽トラックで収集します。

集められた生ごみは、機械処理等により約90日かけて堆肥にリサイクルされます。平成20年度では111トンの生ごみが12トンの堆肥にリサイクルされました。製造した堆肥は、成分分析を行うほか、事業参加者へ配布したり、NPOの実証農場で使用しています。

この事業の特徴的な取り組みとしては、
①市民・市民団体（NPO）・行政が協働して事業を行っている。

②一般家庭の生ごみだけを分別収集してリサイクルしている。

③堆肥化の際におがくず・もみなどの調整材を用いない。

④事業を受託しているNPOの本来活動の一環として、できた堆肥で野菜を栽培し還元することにより「食の循環」

が実現している等があげられます。



岐阜市現場視察



リサイクルされた堆肥

滋賀県甲賀市

甲賀市は滋賀県東南部に位置し、平成16年10月1日に甲賀郡の旧水口町、旧土山町、旧甲賀町、旧甲南町および旧信楽町の5町が合併し誕生した。面積は、481・69平方メートルで滋賀県全体の12%を占め、人口約9万5千人の市である。

生ごみ堆肥化の取り組みは平成13年から旧水口町で開始された。甲賀郡内7町で運営していたごみ焼却施設の処理能力が限界に近く、このままごみが増え続けると、処理しきれなくなることが予想されたため、家庭ごみの約4割を占める生ごみを堆肥化することにより、ごみの減量化が図られ、循環型社会構築の一つと考え、生ごみ堆肥化が導入されました。

甲賀市の生ごみ堆肥化システムは、リサイクル処理等を委託している民間会社から提案されたものを検討した結果、できあがったものである。まず家庭において生ごみ

処理容器（密閉式ポリバケツ）を購入し、市から配布された種堆肥を底に2センチ程ひき、その上に生ごみを入れ、

またその上に種堆肥を入れるという作業を収集日まで繰り返し「サンドイッチ方式」といわれるものである。家庭で処理した生ごみは、週2回ごみ集積所に設置してある回収ボックスに投入できる。回収した生ごみはリサイクルセンターに持ち込み、副資材として乾燥した草・剪定枝などを投入し、機械処理等により約2ヵ月かけて堆肥化する。袋詰めした堆肥は集積所に配布し、再度家庭で生ごみ処理の種堆肥として利用されるというものである。現在約6900余世帯が参加されている。

甲賀市の生ごみ堆肥化システムの特徴は、生ごみの悪臭を防ぐことと、余剰堆肥の用途を考慮した結果、でき上がった堆肥を種堆肥として家庭に戻すことで循環させることができるということである。なおこのシステムはいい方式だが、民間会社の特許ということで費用面は教えていただけなかった。

集められた回収ボックス



甲賀市サンドイッチ方式



紀宝町においても、循環型社会の構築・推進は必要なことだが、費用対効果をよく考え、住民の方々に協力いただき、議会においてもよく議論して進めることが必要であると感じました。

（教育民生常任委員会

委員長 市川 潔）

◎次回定例会の予定

6月15日（火）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。



22年第1回定例会（3月）

可決された議案（3月）

●選挙管理委員会委員の選出及び補充員の選出

・任期満了に伴い、選挙管理委員会委員に、寺本紀美代さん（鵜殿）、向井満男さん（桐原）、小渕大作さん（鵜殿）、木下起央さん（浅里）を選出。また、同補充員には、井上肇さん（成川）、荒尾年生さん（井田）、平嶋康廣さん（鵜殿）、大向井淑子さん（鵜殿）を選出しました。

●教育委員会委員の任命

・教育委員会委員に、廣田とも子さん（井田）、大岡春雄さん（鵜殿）、長村徹夫さん（井内）を任命することに同意しました。

●公共施設等整備基金条例の制定

●紀宝町福祉医療費の助成に関する条例の一部改正

●紀宝町生涯学習センター条例の一部改正

●紀宝町職員の給与に関する条例の一部改正

●紀宝町職員の旅費に関する条例の一部改正

●紀宝町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

●紀宝町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

●平成21年度一般会計補正予算（第7号）

●平成21年度特別会計補正予算（7会計）

●平成22年度一般会計予算

●平成22年度特別会計予算（7会計）

編集後記

今回の定例議会は、補欠選挙の新しい2名を加えた全員が一般質問に立ちました。一般質問は議員の「晴れ舞台」とも言われ「丁々発止のやり取り」で町当局に適度の緊張感を持たせる良い役割を果たしています。議員になると、全員にその心得を記した議員必携が渡され、それには「執行機関とは1歩離れて2歩離れないこと」や「議会のチェック機能の大切さ、批判と監視これが使命だ」と強調されています。私の場合、90分の一般質問内容を事務局が、「話し言葉」を一字一句正確に17枚の原稿に起こし、その文脈を問わず自ら2ページ弱にまとめる作業を行い「議会だより」に記載します。約10分の1程度に縮小するため、議会での一般質疑を含めた雰囲気・様子の伝達には限界があります。これらも踏まえて、「議会だより」の行間を読み解いていただければ幸いです。（文責 鈴木）

「議会だより」（第16号）

編集委員

鈴木 市川 潔
鈴木 學 地案 光徳